

科目名	音楽科教育法ⅡC	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	吉川 範行	単位	2	年次	2

### ＝授業科目の目標＝

模擬授業と授業検討を通し、音楽科授業の考え方や指導の具体的方法を学び、自分の授業を創意工夫できる。同時に、授業以外での生徒とのかかわり、授業に向ける周到な準備、次の授業に向ける点検、音楽教師としての専門性を高める努力等の大切さを理解することができる。

教育実習に臨み、自分の考えに基づく音楽の授業を実践できる資質と能力を培う。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

音楽教師を目指す強い意志をもって履修すること。音楽科教育法Ⅰを受講していること。積極的に模擬授業に参加して、音楽の授業に対する考え方や方法を着実に自分のものにする取り組みを重ねること。模擬授業者の努力・工夫から学び、課題は共に考え、より良い授業を互いに求める。模擬授業の検討を通し、授業における教師としての対応や指導の方法を学ぶ。

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。模擬授業計画（ねらい、計画、内容、方法）
- 2回 模擬授業と授業検討1
- 3回 模擬授業と授業検討2
- 4回 模擬授業と授業検討3
- 5回 模擬授業と授業検討4
- 6回 模擬授業と授業検討5
- 7回 模擬授業と授業検討6
- 8回 模擬授業と授業検討7
- 9回 模擬授業と授業検討8
- 10回 模擬授業と授業検討9
- 11回 模擬授業と授業検討10
- 12回 模擬授業と授業検討11
- 13回 模擬授業と授業検討12
- 14回 模擬授業と授業検討13
- 15回 音楽科教育法Ⅱのまとめ

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

模擬授業に対する、準備、参加意欲・態度、取り組み、学ぶ姿勢（出席回数及びディスカッションにおける発言など）、授業内の参加・観察記録及び、小レポートの内容等を総合的に評価する。

**=テキスト（必携）=**

《No. 1》

書籍名：中学校学習指導要領解説 音楽編

著書名：文部科学省

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社

《No. 2》

書籍名：中学校の音楽 1、2・3上、2・3下、器楽

著書名：小原光一他

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社

《No. 3》

書籍名：中学音楽 音楽のおくりもの1、2・3上、2・3下  
中学器楽 音楽のおくりもの

著書名：三善 晃他

出版社：教育出版

販売先：教育出版

《No. 4》

書籍名：中学校・高等学校教職課程音楽科教育法

著書名：石澤真紀夫

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社